

# 虫供養に行こう!

当日は仏様が描かれた掛軸を掛けた小屋が9つくらい建てられ、お参りができるようにになっています。この中で一番大きな小屋が「道場」と呼ばれ、虫供養の中心となるところです。ここで係の人たちにより「百万遍念仏」と呼ばれる念仏が唱えられます。

百万遍念仏というのは阿弥陀仏という仏様に向かって「ナムアミダブツ」と百万回唱えると願いがかなうというものです。大きな数珠を回しながら「ナンマイダー（ナムアミダブツ）」と唱えます。



## 《大塔婆》

大きな松の木に平和を願う文字が書かれたもの。

砂山は、小さな子どもに踏ませると、「かんの虫封じ」になり健やかに成長できると言われていますよ。



仏様の描かれた掛軸が掛けられた小屋



小屋の中の様子

阿弥陀様の絵が掛けられています。当番の地区の人が交代でお守りしています。一般の人もお参りしていきます。



## 《お囃子奉納》

百万遍念仏が終わる頃には、次の当番地区のお囃子連が会場にやってきます。そこで、2つの地区のお囃子奉納（おくり囃子、むかえ囃子）が順番に行われます。現在は、可愛い子ども囃子連によって行われています。まさに、エールの交換のようです。

